

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・平成20年11月10日・第2号通信
 責任者・堀 達夫 (井の口まちづくり会会長)
 〒500-8003 岐阜市大宮1-17 ☎058-263-9540
 事務局長・河崎良史
 E-mail・malo@he.mirai.ne.jp

まちづくり団体として市に認定されました



細江岐阜市長から「都市景観形成市民団体」の認定書を受け取る堀会長 (常在寺にて)

ついにまちづくり会が始動

井の口まちづくり会 会長 堀 達夫

本年3月に、皆さまのご理解とご協力のもとスタートいたしました「井の口まちづくり会」が、早々に「都市景観形成市民団体」に岐阜市より認定していただける運びとなり、去る5月20日、常在寺において細江市長より認定書の交付をいただきました。

当日は、認定書の交付に続いて、出席の会員の皆さまと市長さんを囲んで座談会を持つことができ、まちづくりに対する市側への要望も多く語られました。

この市民団体の認定により、井の口まちづくり会は期間限定ではありますが助成なり援助が得られます。まちづくり活動の推進にとって大変有意義な認定であると確信いたしております。一方で、この認定を受けたということは、言い換えれば市に対して「私たちがまちづくりについて責任持つて実行していきます」と宣言したものであります。

この地域に暮らす私たちが、私たちの手で、知恵でこの会を動かしていかなければなりません。その第一歩として活動部隊メンバーを広く皆さまから募集し、まず最初に、ぎふ大仏フェスティバルに協力いたします。11月には「井の口まち歩き」を開催いたします。どうか、会員はもとより、地域の多くの方たちといっしょに取り組んで行きたいと願ってやみません。

部隊メンバーの紹介

前号で募集しました活動部隊メンバーに下記の方々をご応募くださいました。部隊にはいつでも、どなたでも参加できます。興味のある方、参加希望の方は会長(堀達夫)までご連絡ください。

- イベント部隊 (フェスティバル部隊改め)

杉山 秀子 (◎)	河崎 良史 (○)
高橋紀久子	高橋かずえ
森 勝彦	後藤 勝利
伊藤いつお	塚原 紀好

- まちの歴史探索部隊

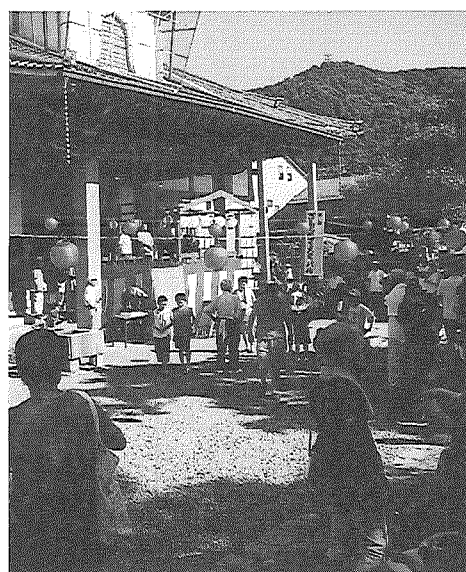
堀 智仙 (◎)	中村 末雄 (○)
北川 英生	杉山 周三
名和 利夫	安藤 幸延
鷺見 善治	鷺見 玲子
松原 和生	宇野 正雄
塚原 紀好	山下寿太郎

- わがまちマップ作成部隊

中村 末雄 (◎)	杉山 範彦 (○)
名和 利夫	松原 和生
森 勝彦	伊藤いつお

- 広報通信作成部隊

事務局 (◎)	吉田 尚弘 (○)
鈴木美英子	高橋かずえ
武井 英男	
◎はリーダー	○は副リーダー



今年3月に発足した井の口まちづくり会の活動として、大仏フェスティバルにどんな形で参加しようかと考えたのが小学生を対象としたこの「〇×クイズ」でした。子どもたちに楽しみながら地域のことに興味を持ってもらうと2日間にわたって50の質問を考えたスタッフのMさんは、短い言葉に長い歴史を盛り込もうかと四苦八苦。人気のTVドラマにあやかった篤姫の質問もありました。それらの質問に、子どもたちを囲む大人たちの中からもおしゃべりの花が咲き、暑くて長い夏の日暮れ、境内は子どもと大人が自然と触れ合う原風景が広がっていました。参加した子どもたちには全員にプレゼントが。そして優勝者には花のレイが贈られ、どの子どもも嬉しそうでした。ちょっと首をかしげた大仏さんのお顔は、この日一段とやさしうに微笑んでいました。高橋かずえ

ぎふ大仏フェスティバル・参加協力奮戦記

〇×クイズに子どもも歓声!



「ぎふ大仏の耳の長さは2メートルより長いと思う子は〇の所、違うと思う子は×の所に行ってください。さあ、どっちかな?」
 答えをどうしようかと参加した子どもたちは、隣の子と相談しながらキャッキヤと歓声をあげ、〇と×の境となつていているロープの上を行ったり来たり。上級生の動きをしっかりと目で追いつながら、その後を回る下級生の子も忙しそう。

第2回勉強会を開催
「井の口」の歴史を探る

6月14日土曜日の午後7時から常在寺本堂において、岐阜市教育委員会社会教育課副主幹・内堀信雄氏による井の口の歴史を岐阜公園付近の発掘調査から探る勉強会として開催しました。

内堀氏は、鍵となる年代として、1535〜39年頃を挙げ、斎藤道三が大桑(現山県市)城下町で学び、稲葉山城の改修と井口城下町を建設したとし、1567年織田信長による稲葉山城占領後もその総構え(城下町の周囲を土塁や塀で囲む)の内堀に手をつけた形跡は見あたらず、信長が小牧山に造った城下町は道三の近世都市井口を手本にしたと話されました。岐阜城は1600年に落城し、以後廃城となり、現在第4次発掘調査が行われています。

この夜は、約80人程の参加者が歴史の真実に熱心に耳を傾けました。

発掘から分かる
井の口のまち



内堀信雄氏による常在寺本堂で行われた第2回勉強会の様子

みんなでいっしょに井の口のまちを探索して歩くイベントです。
「井の口まち歩き」を開催!!

11月24日(祝)/午前9時～お昼/岐阜公園噴水前集合/小雨決行

このまちの魅力や隠れた宝物を見つけよう

主旨・目的

●目的 井の口まちづくり会のメンバーの皆さまにまちの魅力や隠れた財産を再発見していただき、このまちへの愛着を深めていただくことを第一とし、さらには会員相互の親睦を深め、新たな会員増加に向けての活動とします。
 また、当日皆さまから集めた情報は、今年度事業のメインである「わがまちマップ」作成に反映することを目的としています。

参加者募集

●参加条件 井の口まちづくり会に入会の皆さまは是非ともご参加願います。町内単位で入会されている皆さまや、会員のご家族の皆さまもご一緒に参加をお待ちしています。
 会員以外の方でも、このまちに居住の人たちや企業・商店へ通勤している人たち、または井の口のまちの魅力発信に興味のある人なら、居住地を問わずどなたでも参加いただけます。

スケジュール

- 8時30分 岐阜公園噴水前にて受付開始
- 9時00分 堀会長あいさつ
事務局局長からスケジュールとルートの説明
- 9時30分 木挽太鼓の会の皆さんの演奏
- 11時45分 3コースに分かれて出発
井の口のまちを探索
最終地点にて解散(予定)

持ち物・その他

- コースマップを当日お渡しします。筆記具を各自お持ちください。飲み物は、ペットボトルのお茶を皆さんに一本ずつ用意します。
- コース内の建造物への入場・観覧では、建物の家主や住職からお話をさせていただきます。
- コースの引率は、各部隊メンバーと井の口まちづくり会役員が当たり、コースポイントごとに歴史などの説明をいたします。

ものづくりの伝統が生きつづけるこのまちで今もものづくりをしているお店はいくつあるのだろうか。

有名になった御鯨街道。その出発地となった御鯨所はこのまちのどこにあったの。その御鯨はどんなすしでどこの誰に運んだのか。

うだつのある家蔵のある家を見つけよう。

大仏さんの正式なお寺の名称を知っていますか。大仏さんは何のために誰が造ったの。

日本三大仏つて本当ですか。籠でできている大仏さん、中はどうなっているの。



金色に輝く大仏さん



国重文「斎藤道三画像」を所蔵する道三の菩提寺

常在寺は道三の菩提寺、だったらお墓もあるの。道三はお坊さんの名前なの。

梶川堀は昔、どこを流れていたのだろうか。

妙照寺ってお寺になる前は、偉い武士の屋敷だった。その武将は誰でしょう。芭蕉は妙照寺にどのくらい滞在していたの。このまちに残る句碑を探してみよう。

昔の町名、今も残る町名でこのまちの歴史が分かる。

ランビニ幼稚園を知っている人。

岐阜公園にライオンがいたんだよ。ほかにはどんな動物がいたの。

このまちの美味しいものを探してみよう。

事務局だより

事務局長 河崎良史

「井の口まちづくり会」が発足して半年が過ぎました。もう半年も経つのかと感じますが、結構密度の濃い時間を過ごすことができました。

特に、同じ地域に住む人と人がこの会で知り合い、親交を深めることができつつあるのは、まちづくり活動の大きな成果です。色々な分野での才能にあふれた人がいっぱい住まわれているのかと感動しています。私の思い込みでしようが、金華地区でもこの井の口界隈に住む人たちは温和で慎ましい心を持ち合わせている方が多いと感じています。ちょっと下町のおいぐさするこの町が好きです。今回のこのイベントに多くの人が参加していただき、井の口のまちを愛する心がさらに深くなればと期待しています。

話は変わりますが、毎年夏の初めに飛び交う岐阜公園のホタルについては皆さんご存じかと思えます。この地区の風物詩ともなっているホタルの世話を、多少なりともお手伝いしていただける方がございましたら当会までご連絡ください。お願いいたします。

大晦日に除夜の鐘をつきましょう

場所 妙照寺にて

妙照寺では毎年大晦日の12月31日の夜11時30分過ぎころから、鐘をつく人々で賑わっています。

皆さんも妙照寺さんの鐘について、輝く年を迎えてみませんか。

